

市民交流プラザ事業部



© yixtape

IMMERSIVE ART MIX 身体展覧会
令和8年3月14日(土)・15日(日)

市民交流プラザ事業部
事業体系

定款第4条第1～2号に掲げる事業は、次により行った。

事業体系

市民交流プラザ事業部	管理運営事業－貸館事業、施設の維持管理等	
	主催事業	
	1	札幌文化芸術劇場に関する事業
	(1)	創造事業
	(2)	鑑賞事業
	(3)	普及・育成事業
	(4)	交流事業
	(5)	舞台技術向上への取組
	2	札幌文化芸術交流センターに関する事業
	(1)	文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業
	(2)	文化芸術活動支援事業・文化芸術に関する調査研究事業
	3	広報・利用促進に関する事業

管理運営事業

○札幌市民交流プラザ利用状況

			令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
札幌文化芸術劇場	劇場	利用率	92.4%	85.1%	88.7%
		利用料金収入	196,633,370円	182,521,770円	185,674,980円
	クリエイティブ スタジオ	利用率	93.5%	91.2%	91.6%
		利用料金収入	27,502,610円	25,910,190円	14,596,290円
	練習室等	利用率	85.9%	87.8%	91.5%
		利用料金収入	13,570,360円	13,424,350円	13,979,150円
札幌文化芸術交流センター (SCARTSコート、SCARTSスタジオ、SCARTSモール等)		利用率	87.9%	94.0%	85.6%
		利用料金収入	20,656,000円	17,820,260円	18,792,750円
利用料金収入合計			258,362,340円	239,676,570円	233,043,170円
総入場者数			698,691人	671,748人	646,915人
総来館者数（札幌市図書・情報館含む）			1,523,758人	1,561,125人	1,536,587人

※利用料金収入には、利用取消手数料収入を含まない。

【参考】

令和5年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール（1,000席以上）：60.3％ 小ホール（500席未満）：55.1％

（出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和6年度劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査報告書」）

主 催 事 業

札幌文化芸術劇場に関する事業

1 創造事業

道内初の多面舞台を備えたホールの機能を活用し、国内の劇場や地元芸術団体との共同制作など「創造の場」として、札幌発のバレエやパフォーミングアーツ等の舞台芸術を展開し、市民が質の高い文化芸術に触れる機会を提供した。

①hitaru バレエプロジェクト

札幌文化芸術劇場 hitaru が、地元のバレエ団体、実演芸術家などの協力を得て、hitaru を舞台とした新たなバレエ作品を創造・発信するプロジェクト。

(1) hitaru バレエプロジェクト 「くるみ割り人形」(全幕)

2023年に初演し、好評を博した「くるみ割り人形」を再演。今回も国内トップクラスのゲストダンサーを迎え、新たにオーディションで選ばれた地元ダンサーと共演した。また、来場者が「くるみ割り人形」の世界を楽しめるフォトスポットの設置や、館内レストランとの連携による特別メニューの提供なども行った。



撮影：n-foto LLC

期 日：令和8年2月28日（土）、3月1日（日）
各日開演17:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

協力団体：We Love Ballet 実行委員会、札幌舞踊会、
ドリーム オブ ダンサーズ、公益社団法人
日本バレエ協会北海道支部

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人
日本芸術文化振興会

演出振付：千田雅子（札幌舞踊会）

出 演：中村祥子／郷翠（魔法の国の女王）

ヴィスラフ・デュデック（魔法の国の王）

巽心花／湊莉々子（クララ）

山本隆之（ドロッセルマイヤー）

森脇崇行（くるみ割り人形）

林田翔平（雪の王・アラビア）ほか

入場料：全席指定 S席 11,000円、A席 8,000円、
B席 6,000円、C席 4,000円、D席 3,000円、
U25 各席種 2,000円引

入場者数：2月28日（土）1,984人、
3月1日（日）1,651人

<関連事業>

「くるみ割り人形」特別フェア

「くるみ割り人形」再演を記念して展示イベントを開催。クリスマスツリーや2幕冒頭に登場する「空飛ぶ魔法の本」の撮影スポットのほか、初演時の公演写真・映像を展示した。



期 日：令和7年12月19日（金）～12月23日（火）

会 場：SCARTS モールA・B

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

入場料：無料

入場者数：300人

(2) hitaru のひととき My First Ballet ～くるみ割り人形～

新規

hitaru バレエプロジェクト「くるみ割り人形」の見どころを凝縮し、初めて劇場に訪れる方、バレエ鑑賞に不慣れな方も楽しめる特別バージョンを上演した。また、アクセシビリティの向上を目的に、入場年齢制限を設定しなかったほか、「リラクセスエリア」の設

市民交流プラザ事業部

主催事業

置、上演中の入退場を可能にするなどの工夫を行った。



撮影：n-foto LLC

期 日：令和8年3月1日（日）開演13:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

協力団体：We Love Ballet実行委員会、札幌舞踊会、
ドリーム オブ ダンサーズ、公益社団法人
日本バレエ協会北海道支部

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音
楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人
日本芸術文化振興会

演出振付(バレエ)：千田雅子（札幌舞踊会）

演出(芝居)：清水友陽（公益財団法人 北海道演劇財団 芸
術監督）

出 演：郷翠（魔法の国の女王）
ヴィスラフ・デュデック（魔法の国の王）
巽心花（クララ）
山本隆之（ドロッセルマイヤー）
森脇崇行（くるみ割り人形）
林田翔平（アラビア）ほか
＜芝居＞
山野久治（武）
坂口紅羽（もも）
中野葉月（まい）

入場料：全席指定 一般 5,000円、U25 2,000円

入場者数：1,515人

＜関連事業＞

hitaruのひととき My First Ballet

～くるみ割り人形～

バックステージツアー

新規

「hitaruのひととき My First Ballet ～くるみ
割り人形～」のチケット購入者限定で、バックステー
ジツアーを開催した。



撮影：n-foto LLC

期 日：令和8年3月1日（日）開始14:45

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

参加料：500円

参加者数：30人

（3）hitaruバレエプロジェクト

「くるみ割り人形」オーディション

令和8年2月28日（土）、3月1日（日）開催、
hitaruバレエプロジェクト「くるみ割り人形」キャ
ストの起用にかかり、北海道在住もしくは北海道にゆ
かりのある方を対象としたオーディションを実施した。



期 日：令和7年6月28日（土）

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

協力団体：We Love Ballet 実行委員会、札幌舞踊会、ドリーム オブ ダンサーズ、公益社団法人日本バレエ協会北海道支部

キャスト：魔法の国の女王、パパ、ママ、祖父、祖母、客人、召使、ハレーキン、コロンビーヌ、パンタローネ、ネズミの女王、ネズミ、兵隊、雪、スペイン、アラビア、中国、ロシア、フランス、花のワルツ、クララ、フリッツ、子どもたち など

審査員：千田雅子（札幌舞踊会）、渡辺たかこ（Takako Classical Ballet）、林香織（札幌舞踊会）、遠藤広士（札幌市民交流プラザ 館長）、高橋秀典（札幌文化芸術劇場 hitaru チーフプロデューサー）

参加料：無料

応募者数：176人

（４）＜関連事業＞

hitaru バレエプロジェクト×札幌芸術の森バレエセミナー

パリ・オペラ座バレエ団 ジル・イゾアール氏の公開トーク～男性ダンサーとダンス教育の現在（いま）～

芸術の森バレエセミナーと連携し、パリ・オペラ座バレエ団から教師のジル・イゾアールを講師に迎えた公開トークを昨年に引き続き開催。「男性ダンサー」をテーマに、世界最高峰のカンパニーを支えるダンス教育のありかたについて、指導のポイントやコミュニケーションの方法などをお話いただいた。札幌市図書・情報館での開催、MORIHICO 芸術劇場による試飲サービスなど館内連携も実施した。



期 日：令和 7 年 8 月 12 日（火）開始 17:00

会 場：札幌市図書・情報館 1 階サロン

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru、札幌芸術の森

（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

会場協力：札幌市図書・情報館

飲料提供：MORIHICO 芸術劇場

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

講 師：ジル・イゾアール（パリ・オペラ座バレエ団教師・パリ国立高等コンセルヴァトワール教授・札幌芸術の森バレエセミナー講師）

通 訳：四方泉（日仏舞踊協会・タンリエ）

入場料：無料

参加者数：50人

（５）＜関連事業＞

バレエのための音楽講座

新国立劇場バレエ団レジデント・コンダクター 富田実里を講師に迎え、2 日間講座を開講した。



期 日：①音楽とともにあるバレエの世界～指揮者の視点から 令和 7 年 9 月 6 日（土）開始 13:30

②チャイコフスキー三大バレエに探る音楽の魅力 令和 7 年 9 月 7 日（日）開始 11:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

協力団体：We Love Ballet 実行委員会、札幌舞踊会、ドリーム オブ ダンサーズ、公益社団法人日本バレエ協会北海道支部

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

講 師：富田実里（新国立劇場バレエ団レジデント・コンダクター）

市民交流プラザ事業部

主催事業

対 象：①「くるみ割り人形」に出演する地元ダンサー

②一般

聴講料：①全席自由 2,000円

②全席自由 500円

参加者数：①受講者 12人、聴講者 49人

②聴講者 101人

(6) <配信事業>

有料アーカイブ配信「hitaruのひととき

My First Ballet ～くるみ割り人形～」

令和8年3月1日(日)開催、「hitaruのひととき
My First Ballet ～くるみ割り人形～」をHTB on
ライン劇場にて有料アーカイブ配信した。



配信期間：令和8年3月20日(金・祝)～5月31日(日)

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化
財団)

映像制作：北海道テレビ放送株式会社

視聴料：1,000円

視聴者数：72人(令和8年度3月31日時点)

②hitaru オペラプロジェクト

札幌文化芸術劇場 hitaru が、地元のオペラ団体、
教育機関、実演芸術家などの協力を得て、hitaru を
舞台としたオペラを創造・発信するプロジェクト。

(1) <配信事業> 有料アーカイブ配信

hitaru オペラプロジェクト

モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」

令和7年3月7日(金)、9日(日)開催、hitaru
オペラプロジェクト モーツァルト「ドン・ジョヴァ
ンニ」をHTB on ライン劇場にて有料アーカイブ配
信した。(配信は3月7日公演)



配信日時：令和7年6月22日(日)～8月31日(日)

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化
財団)

映像制作：北海道テレビ放送株式会社

視聴料金：500円(オペラデビュー応援価格)

視聴者数：145人

(2) <関連事業>

若手歌手のための身体表現研修 **新規**

第2回 hitaru オペラプロジェクト モーツァルト
「ドン・ジョヴァンニ」公演にて演出を務めた栗國淳、
および振付を務めた雨森景子・高橋宏尚を講師に迎え、
北海道ゆかりの若手歌手を対象に、オペラにおける身
体表現の技術と理解を深める研修を実施した。研修の
一部は札幌大谷大学、北海道教育大学岩見沢校、北翔
大学の在校生を対象に聴講を受け入れたほか、「栗國
淳によるレクチャー～オペラにおける身体表現～」に
ついては一般にも公開した。



撮影：n-foto LLC

期 日：令和7年11月9日(日)～10日(月)

9日Aチーム開始10:00

Bチーム開始11:00

レクチャー開始13:30

10日 A チーム開始10:00

B チーム開始12:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru、クリエイティブ
スタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化
財団）

協力団体：一般財団法人 北海道二期会、NPO 法人室内
歌劇場、LC アルモーニカ、札幌オペラシン
ガーズ、札幌大谷大学、北海道教育大学

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音
楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人
日本芸術文化振興会

講 師：＜アルテ・シェニカ＞ 栗國淳
＜バレエ＞ 雨森景子、高橋宏尚

確カカム：栗國淳によるレクチャー～オペラにおける身
体表現～

アルテ・シェニカ

バレエ ウォーミングアップ

バレエ 身体表現

ランチ交流会

参加料：研修受講料（2 日間） 6,000円

学生聴講料（2 日間） 1,500円

レクチャー聴講料 500円

参加者数：研修受講者 13人

学生聴講者 4人

レクチャー聴講者 16人

（3）＜関連事業＞

若手歌手コース研修受講者（ガラコン
サート出演者）オーディション **新規**

令和 8 年度に hitaru オペラプロジェクト関連事業
として開催する、若手歌手を対象とした研修事業の受
講者を選考するため、北海道にゆかりのある方を対象
にオーディションを実施した。



期 日：令和 8 年 2 月 14 日（土）

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化
財団）

審査員：栗辻聡（指揮者）、宮本益光（総合演出）、
針生美智子（企画アドバイザー）、遠藤広士
（札幌市民交流プラザ 館長）、高橋秀典（札
幌文化芸術劇場 hitaru チーフプロデューサー）

参加料：無料

応募者数：16人

市民交流プラザ事業部

主催事業

③hitaru creation

札幌文化芸術劇場 hitaru が札幌で活動する芸術家と連携し、セルフプロデュースする新規創造事業。

(1) IMMERSIVE ART MIX 身体展覧会

新規

クリエイティブスタジオと6つの展示室を会場に、観客自身が歩きながら鑑賞する、イマージブ（没入）形式のダンス公演を開催した。



撮影：yixtape

期 日：令和8年3月14日（土）、15日（日）

各日①開始14:00、②開始17:00

会 場：クリエイティブスタジオ ほか

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化総合推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

広報協力：CONTE Dance Production

出 演：鈴木明倫、大森弥子、堀川千夏、梅原たくと、田中朝子（Co.山田うん）、星野梓（Co.山田うん）、佐々木章晃（Co.山田うん）、関あさみ、秋野晴香、岩本伊織、杉村美緒菜、山崎彩美、米坂あやな

演出・構成・脚本・振付：鈴木明倫

共同振付：大森弥子、堀川千夏、関あさみ、田中朝子（Co.山田うん）、星野梓（Co.山田うん）、佐々木章晃（Co.山田うん）

協 力：Co.山田うん

音 楽：小野健悟

衣 裳：石岡美久

ヘアメイク：池田真由美

入場料：一般 4,000円、U25 2,000円

入場者数：14日 ① 30人 ② 25人

15日 ① 28人 ② 29人

(2) <<配信事業>>

有料アーカイブ配信

Creative Art Mix Vol.3 Classical Jewels DX～New World～

令和7年2月9日（日）開催、hitaru creation「Creative Art Mix Vol.3 Classical Jewels DX～New World～」を有料アーカイブ配信した。



配信日時：令和7年4月11日（金）～6月30日（月）

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

映像制作：門間友佑

視聴料金：500円

視聴者数：103人

(3) <<関連事業>>

BODY&SOUL Kids★Party

～がおがお！音獣ますかれーどの巻～（後掲）

2 鑑賞事業

劇場の多面舞台と最新の舞台機能を活かし、国内外トップクラスのパレエ、舞踏など本格的舞台芸術による「鑑賞の場」を多彩な内容で広く市民に提供した。

①大駱駝艦・天賦典式「クレイジーキャメル」

新規

磨赤兒率いる舞踏の代表的カンパニー 大駱駝艦による初めての北海道公演を開催。二人の女学生と一人の男子学生の人生をヴィヴァルディの“四季”にのせて紡ぐ、愛と青春の舞絵巻「クレイジーキャメル」を上演した。



撮影：yixtape

期 日：令和7年9月14日（日）開演14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会、公益財団法人札幌国際プラザ

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化総合推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

広報協力：CONTE Dance Production

振替（振付）：磨赤兒

舞臺（出演）：大駱駝艦

村松卓矢、田村一行、松田篤史、塩谷智司、
小田直哉、坂詰健太、荒井啓汰、高桑晶子、
鉾久奈緒美、藤本梓、梁鐘響、
齋門由奈、谷口舞、谷口美咲子、石井エリカ

入場料：全席指定 一般 4,500円、U25 3,000円

入場者数：708人

<関連事業>

大駱駝艦 大ポスター展

新規

関連事業として大駱駝艦の過去公演のポスター計43点を展示した。



期 日：令和7年5月31日（土）～6月16日（月）

会 場：SCARTS スタジオ

札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）憩いの空間 北1東①～⑨

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会、公益財団法人札幌国際プラザ

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化総合推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

入場料：無料

入場者数：7,450人

<関連事業>

上演記念プレトーク「大駱駝艦・天賦典式について」

新規

大駱駝艦 舞踏手の田村一行と北海道で舞踏・コンテンポラリーダンスの企画を展開する森嶋拓によるプレトークを開催した。



期 日：令和7年8月31日（日）開始15:30

市民交流プラザ事業部

主催事業

会 場：クリエイティブスタジオ
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会、公益財団法人札幌国際プラザ
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会
出 演：田村一行、森嶋拓
参加料：無料
参加者数：55人

<関連事業>

磨赤児の舞踏ワークショップ 新規

大駱駝艦体操・磨メソッドを体験できる、磨赤児による舞踏ワークショップを開催した。



撮影：yixtape

期 日：令和7年9月11日（木）開始18:30
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会、公益財団法人札幌国際プラザ
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会
講 師：磨赤児
アシスタント：田村一行、鉾久奈緒美
参加料：2,500円
参加者数：31人

②東京バレエ団 hitaru Special Gala 新規

東京バレエ団によるオリジナルプログラムで、古典バレエの代表作「ドン・キホーテ」と現代バレエの傑作「ボレロ」に加え、名作のパ・ド・ドゥ集を上演した。従来のU25割引に加え、シニア割引と障がい者割引の設定や、カームダウンスペース、筆談ボードの設置、サウンドハグの導入などアクセシビリティの向上に努めた。



撮影：n-foto LLC

期 日：令和7年9月26日（金）開演18:30
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化総合推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会
協 力：福祉とアーツ北海道
出 演：「ドン・キホーテ」
伝田陽美（キトリ）、柄本弾（バジル）
「ディアナとアクテオン」
秋山瑛（ディアナ）、二山治雄（アクテオン）
「ロミオとジュリエット」
秋山瑛※（ジュリエット）、大塚卓（ロミオ）※足立真里亜から変更
「ボレロ」
上野水香（メロディ）
プログラム：「ドン・キホーテ」より抜粋
「ディアナとアクテオン」よりパ・ド・ドゥ
「ロミオとジュリエット」（モーリス・ベジャール振付）よりパ・ド・ドゥ
「ボレロ」（モーリス・ベジャール振付）
入場料：全席指定 S席 11,000円、A席 8,000円、B席 6,000円、C席 4,000円、D席 3,000円、サウンドハグ付きS席 12,000円、シニア割・

U25・障がい者割引 各席種 2,000円引き
入場者数：1,639人

<関連事業・連携事業>

アートプログラム2025

バレエ「ドン・キホーテ」「ボレロ」見どころ・聴きどころ（後掲）

③プラザフェスティバル2025

新国立劇場バレエ団「シンデレラ」 **新規**

札幌市民交流プラザ開館7周年事業「プラザフェスティバル2025」の一環として、新国立劇場バレエ団によるグランドバレエ「シンデレラ」を上演した。



撮影：n-foto LLC

期 日：令和7年10月4日（土）開演16:00

5日（日）開演14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化総合推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

出 演：フレデリック・アシュトン（振付）

マルク・ルロワ＝カラタユード（指揮）

小野絢子／米沢唯（シンデレラ）

井澤駿／渡邊峻郁（王子）

奥村康祐、小野寺雄（義理の姉たち）

吉田朱里（仙女）

五月女遥（春の精）

飯野萌子（夏の精）

奥田花純（秋の精）

根岸祐衣（冬の精）

山田悠貴／木下嘉人（道化）

札幌交響楽団（管弦楽・バンダ） ほか

入場料：全席指定 SS席 15,000円、S席 13,000円、A席 10,000円、B席 8,000円、C席 6,000円、D席 5,000円、ペアSS席 29,000円、ペアS席 25,000円、ペアA席 19,000円、U25 各席種 2,000円引き（SS席、ペア席を除く）

入場者数：4日（土）1,329人、5日（日）1,488人

④hitaruのひととき

市内中心部の地下鉄駅直結という劇場の優れた立地条件を活用し、料金設定をおさえ、親しみやすいプログラムにより、気軽に実演芸術に触れてもらう機会を提供した。

（1）小林沙羅×大西宇宙 華麗なるオペラ名曲コンサート **新規**

国内外で活躍するオペラ歌手 小林沙羅、大西宇宙とピアニストの河原忠之を迎えたオペラやオペレッタの名曲をお届けするコンサートを開催した。公演前にはプログラムの聴きどころや hitaru について紹介するレクチャー動画をオンライン配信した。



撮影：Hiroharu Takeda

期 日：令和7年6月22日（日）開演14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化総合推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

出 演：小林沙羅（ソプラノ）、大西宇宙（バリトン）、河原忠之（ピアノ）

曲 目：シューベルト「野ばら」

シューベルト「アヴェ・マリア」

シューマン「献呈」

シュトラウス「万霊節」

市民交流プラザ事業部

主催事業

モーツァルト 歌劇『フィガロの結婚』より
「序曲（抜粋）」「恋とはどんなものかしら」
モーツァルト 歌劇『ドン・ジョヴァンニ』
より「窓辺において」、「お手をどうぞ」
ロッシーニ 歌劇『セヴィリアの理髪師』
より「俺は街の何でも屋」
プッチーニ 歌劇『ラ・ボエーム』より「私
の名はミミ」
グノー 歌劇『ファウスト』より「祖国を離
れる前に」、「宝石の歌」
ビゼー 歌劇『カルメン』より「第3幕への
間奏曲」、「何を恐れることがありましょ」
「闘牛士の唄」
レハール『メリーウィドウ』より「唇は語ら
ずとも」

入場料：全席指定 一般 4,000円、U25 2,000円、
障がい者割引 3,000円

入場者数：572人

<関連事業>

小林沙羅&大西宇宙によるトークイベント& 公開レッスン **新規**

コンサートの開催前日に、小林沙羅と大西宇宙を講
師に迎え、トークイベントと地元音楽大学在校生・卒
業生を対象とした公開レッスンを開催した。



撮影：Hiroharu Takeda

期 日：令和7年6月21日（土）開始17:00
会 場：クリエイティブスタジオ
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化
財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音
楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人
日本芸術文化振興会
出 演：小林沙羅、大西宇宙（講師）、古屋瞳（司会）、

河原忠之（ピアノ）

レッスン受講生：遠藤賢太（北海道教育大学 岩見沢校
2年生）、永瀬明来（札幌大谷大学卒
業生）

入場料：全席自由 500円

入場者数：58人

（2） Sound of Japan Fes

～A BRAND NEW MINYO～

新規

ブルーノート東京との共同プロデュースにより、
「MINYOサロン」「MINYOライブ」の2パートから
なる、日本の民謡の新たな魅力を存分に体感できる音
楽フェス「Sound of Japan Fes」を開催した。英語
版チラシの作成等でインバウンド層にも訴求したほか、
若年層の動向調査のため、北海道内の大学生を対象と
したモニターリサーチも実施した。



撮影：n-foto LLC

期 日：令和7年7月27日（日）
MINYOサロン 開始13:00
MINYOライブ 開演15:00
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化
財団）
協 力：株式会社ブルーノート・ジャパン
後 援：札幌市、札幌市教育委員会、公益財団法人札
幌国際プラザ、FM NORTH WAVE
特別後援：AIR-G' FM 北海道
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化総合推進事業（劇場・
音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法
人日本芸術文化振興会
出 演：民謡クルセイダース、元ちとせ、菅野優斗、
俵謡山脈
プログラム：<第1部>
秋田大黒舞
串本節

北海盆唄
おてもやん
ホーハイ節
大漁唄い込み
津軽じょんがら節
会津磐梯山

<第2部>

貝殻節
ソーラン節
ワダツミの木
豊年節
ワイド節
炭坑節

入場料：全席指定 一般 4,000円、U25 2,000円

入場者数：855人

<関連事業>

『ブリング・ミンヨー・バック!』
トークセッション付き映画上映会

新規

札幌を中心に映画の上映会の企画・運営を行うキノマドの企画協力のもと、民謡クルセイダーズの旅を追うドキュメンタリー映画の上映を、民謡関連ゲストを交えたトークセッション付きで実施した。



期 日：令和7年7月18日（金）開始19:30

会 場：平岸ダルマホール

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

企画・協力：キノマド、fuchi

協 力：平岸ハイヤー

ゲスト：<TALK SESSION>

カワハタタクヤ（OTO TO TABI）、

小寺聖夏（シンガーソングライター、津軽三味線奏者）、小町谷健彦（fuchi）、田口亮（キノマド）

<DJ TIME>

ヤマザキケイタロウ（DJ）

入場料：全席自由 1,000円

入場者数：58人

<関連事業>

MINYO ワークショップ

新規

民謡クルセイダーズ ヴォーカルのフレディ塚本、リーダーでギタリストの田中克海を講師に迎え、歌って踊れる民謡の魅力を hitaru の舞台上で体験いただくワークショップを開催した。



期 日：令和7年7月26日（土）開始14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

協 力：株式会社ブルーノート・ジャパン

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化総合推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

講 師：フレディ塚本、田中克海（民謡クルセイダーズ）

サポート：大沢広一郎、マドコロナオヤ、イデソノオ、藤野“デジ”俊雄、山口敬文、野口勇介、ちゃんゆか、moe、小林ムツミ、湯浅佳代子（民謡クルセイダーズ）

参加料：500円

参加者数：41人

（3）My First Ballet ～くるみ割り人形～
（再掲）

市民交流プラザ事業部

主催事業

⑤ ゆうめい「養生」

新規

ゆうめい初の北海道公演として、第32回読売演劇大賞優秀演出家賞受賞作「養生」を上演した。両日とも上演後に演出家、出演者、演劇ジャーナリストによるアフタートークを実施した。



撮影：kenzo kosuge

期 日：令和7年12月6日（土）開演18:00

7日（日）開演13:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

作・演出・美術：池田亮

出 演：本橋龍（ウンゲツィーファ）、黒澤多生（青年団）、丙次（ゆうめい）

<アフタートーク出演>

6日（土）池田亮、出演者3名

7日（日）池田亮、徳永京子（演劇ジャーナリスト）

入場料：全席自由 一般 3,500円、U25 2,000円

入場者数：6日（土）167人、7日（日）153人

<関連事業>

スペシャルトーク 池田亮（ゆうめい代表）

×山田由梨（贅沢貧乏主宰）

新規

2025年12月の「ゆうめい『養生』」公演と「贅沢貧乏『わかれうとはおもっているけど』」公演のクリエイティブスタジオでの開催に先んじて、それぞれの劇団の代表・主宰である池田亮と山田由梨を招き、トークイベントを開催した。



期 日：令和7年9月23日（火・祝）開始13:00

会 場：札幌市図書・情報館 1階サロン

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）、公益財団法人北海道文化財団

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会

出 演：池田亮（「ゆうめい」代表）、山田由梨（「贅沢貧乏」主宰）

参加料：無料

参加者数：54人

<関連事業>

hitaru 劇評入門

「観る」「語る」「書く」で深める演劇体験

新規

札幌出身で演出助手・演出進行として活動している丹治泰人と演劇ジャーナリストの徳永京子を講師に迎え、より深く、より身近に演劇について考えるための「劇評」にまつわる全3回の研修プログラムを開催した。



期 日：<基礎編・実践編（全2回）>

①令和7年11月30日（日）開始14:00

②令和7年12月7日（日）開始16:30

<特別レクチャー編>

③令和7年12月8日（月）開始19:00

会 場：①控室401 ②中練習室1

③クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

講 師：<基礎編・実践編>丹治泰人
<特別レクチャー編>徳永京子

参加料：基礎編・実践編（2講座セット）3,000円

特別レクチャー編 全席自由 一般 2,000円、
U25 1,000円

参加者数：基礎編・実践編 18名、特別レクチャー編 45名

<関連事業>

ゆうめい10周年記念展示『まわるしかく』

新規

ゆうめいの10年間にわたる創作を、過去公演映像の上映やインスタレーション作品で振り返る展示を開催した。



期 日：令和7年12月4日（木）～ 7日（日）

会 場：SCARTSスタジオ1、2

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

入場料：無料

入場者数：208人

⑥贅沢貧乏「わかろうとはおもっているけど」

新規

山田由梨主宰の劇団・贅沢貧乏による初の北海道公演として、2019年初演、2022年にパリで上演し好評を博した『わかろうとはおもっているけど』を2日間にわたり上演。13日の上演終了後には作・演出の山田由梨と詩人の文月悠光によるポストパフォーマンストークを実施した。



撮影：大橋泰之（マカロニ写真事務所）

期 日：令和7年12月13日（土）開演18:00

14日（日）開演13:30

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：公益財団法人北海道文化財団

札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

市民交流プラザ事業部

主催事業

財団)

後 援：北海道

制作協力：ダブルス

作・演出：山田由梨（「贅沢貧乏」主宰）

音 楽：金光佑実

出 演：大場みなみ、山本雅幸、佐久間麻由、大竹このみ、青山祥子

＜ポストパフォーマンストーク＞

山田由梨、文月悠光（詩人）

入場料：全席指定

＜前売＞一般 3,500円、U25 2,000円

＜当日＞一般 4,000円、U25 2,500円

入場者数：13日（土）163人、14日（日）130人

⑦ミュージカル「レ・ミゼラブル」（共催）

昭和62年の日本初演以来、3,400回以上の上演を重ねる大ヒットミュージカル。19世紀初頭のフランスの動乱期を舞台に当時の社会情勢や民衆の生活を克明に描く。令和元年以来の札幌公演を全9日間、12公演上演した。公演にあわせてSCARTSモールCにフォトスポットを設置した。

期 日：令和7年5月25日（日）～6月2日（月）

5月25日（日）①開演17:00

26日（月）②開演13:00

27日（火）③開演13:00、④開演18:00

28日（水）⑤開演13:00

29日（木）⑥開演13:00

30日（金）⑦開演13:00、⑧開演18:00

31日（土）⑨開演12:00、⑩開演17:00

6月1日（日）⑪開演12:00

2日（月）⑫開演13:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、株式会社エフエム北海道、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

入場料：全席指定 S席 16,500円、A席 13,000円、B席 8,000円

入場者数：① 2,100人 ② 2,054人 ③ 2,092人

④ 2,088人 ⑤ 2,074人 ⑥ 2,097人

⑦ 2,100人 ⑧ 2,105人 ⑨ 2,068人

⑩ 2,109人 ⑪ 2,103人 ⑫ 2,113人

⑧第六回さっぽろ落語まつり（共催）

開館より継続して開催しているさっぽろ落語まつりの第6回公演。東西の人気落語家が札幌に集結し、札幌文化芸術劇場 hitaru、共済ホールの2会場で3日間、計12公演開催した。

期 日：令和7年6月6日（金）～8日（日）

6月6日（金）①開演13:00 ②開演17:30

7日（土）③開演11:00 ④開演15:30

8日（日）⑤開演11:00 ⑥開演15:30

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru、共済ホール

主 催：株式会社テレビ北海道、株式会社北海道新聞社、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

協 力：株式会社オフィスまめかな、吉本興業株式会社

後 援：札幌市

入場料：全席指定 前売 4,800円、当日 5,000円

入場者数：① 1,749人 ② 1,154人 ③ 1,584人

④ 2,095人 ⑤ 686人 ⑥ 852人

⑨ミュージカル「エリザベート」（共催）

新規

平成12年の東宝版初演から25周年を迎えた大ヒットミュージカル。類なき美貌を誇ったハプスブルク帝国最後の皇后エリザベートの生涯を描く。北海道初上演。全9日間、計13公演上演した。公演にあわせてSCARTSモールCにてパネル展示を行った。

期 日：令和7年12月9日（火）～18日（木）

12月9日（火）①開演18:00

10日（水）②開演13:00

11日（木）③開演13:00、④開演18:00

13日（土）⑤開演12:00、⑥開演17:00

14日（日）⑦開演12:00

15日（月）⑧開演13:00、⑨開演18:00

16日（火）⑩開演13:00

17日（水）⑪開演13:00、⑫開演18:00

18日（木）⑬開演13:00

※12日（金）は休演

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

入場料：全席指定 S席 17,500円、A席 14,000円、B席 8,000円

入場者数：① 2,014人 ② 1,920人 ③ 1,945人
④ 1,942人 ⑤ 2,066人 ⑥ 2,023人
⑦ 2,043人 ⑧ 1,942人 ⑨ 2,061人
⑩ 2,070人 ⑪ 2,063人 ⑫ 2,098人
⑬ 2,092人

⑩2025 HTB ジルベスターコンサート（共催）

平成9年にスタートした歴史あるコンサートの第28回公演。ゲストにヴァイオリニストのNAOTO、ピアニストの菊池亮太、ソプラノ歌手の高橋茉椰を迎え、札幌交響楽団の演奏で開催した。

期 日：令和7年12月31日（水）開演16:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：北海道テレビ放送株式会社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）、株式会社道新文化事業社

特別協力：札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）、公益財団法人札幌交響楽団、株式会社エフエム北海道

特別協賛：株式会社アミノアップ

協 賛：北海道ボラコン株式会社、株式会社オカムラ、チュウケイ株式会社

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会

協 力：日本航空株式会社

入場料：全席指定 プラチナ席 10,000円、SS席 7,500円、S席 6,500円、A席 5,500円、B席 4,500円、中学生以下（SS席、S席）1,500円、中学生以下（A席、B席）500円

入場者数：1,220人

3 普及・育成事業

先進の舞台芸術を広く市民に紹介するとともに、舞台芸術活動の将来を担う世代の育成を目的に、多彩な芸術文化作品の提供と、魅力的で芸術性の高い参加型事業を展開した。

①hitaru ダンスワークショップ for Lifetime

新規

クラシックバレエと舞踏の2ジャンルに焦点をあて、年齢やニーズに合わせて気軽にダンスに触れることができるワンコイン・ワークショップを開催した。



期 日：①親子歓迎 はじめてのバレエレッスン

令和7年7月12日（土）開始13:00

②男女不問 大人のためのバレエ体験

令和7年7月12日（土）開始16:00

③白塗り体験&白塗り散歩

令和7年7月13日（日）開始12:00

④一歩踏み込む舞踏体験～舞踏手の頭を覗いてみよう～

令和7年7月13日（日）開始16:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

講 師：＜バレエ＞郷翠

＜舞踏＞髪立ツカサ

参加料：一講座あたり 500円

参加者数：①34名 ②47名 ③20名 ④14名

市民交流プラザ事業部

主催事業

②大学連携事業

札幌市内の大学と連携し、大学の教授、音楽家、ピアニストなどがオペラ、バレエ、ミュージカルなどの見どころ、聴きどころをより分かりやすく解説するとともに、本番の公演をお客様に楽しんでいただく企画として、市民が気軽に参加できる機会を提供した。

(1) <連携事業>

アートプログラム2025

バレエ「ドン・キホーテ」「ボレロ」

見どころ・聴きどころ

新規

2025年9月26日（金）に開催の「東京バレエ団 hitaru Special Gala」の関連事業として、『ドン・キホーテ』と『ボレロ』の見どころ、聴きどころを、札幌大谷大学の千葉潤学長が解説した。さらに、東京バレエ団ダンサーによるスペシャルメッセージ映像も上映した。

期 日：令和7年8月29日（金）開始19:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌大谷大学

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

講 師：千葉潤（札幌大谷大学学長）

入場料：全席自由・事前申込制 1,000円

入場者数：72人

③My First Ballet ～ドン・キホーテ（抜粋）&ボレロ～

開館以来、札幌市内中学校2年生を対象に、バレエの鑑賞機会を提供している「青少年向けバレエ鑑賞事業」を、より親しみやすい公演名に改名して実施。東京バレエ団による、クラシックバレエの名作「ドン・キホーテ」の抜粋と、現代バレエの傑作「ボレロ」の2作品を上演した。ダンサーによるキャラクター紹介や抱きかかえることで音楽を視覚と触覚で感じられる球体型デバイス「SOUND HUG（サウンドハグ）」のほか、司会の文字起こしや映像の字幕化などにより、様々な子どもたちが楽しめる工夫を行った。



撮影：n-foto LLC

期 日：令和7年9月26日（金）開演14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化総合推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

特別協賛：株式会社ニトリ

出 演：東京バレエ団

プログラム：「ドン・キホーテ」より抜粋

「ボレロ」（モーリス・ベジャール振付）

入場料：無料

入場者数：1,867人（札幌市内中学校21校）

<配信事業>

My First Ballet（中学生向け・映像配信事業）

札幌市内の中学校2年生を対象に、国内外で高い評価を受ける東京バレエ団による「白鳥の湖」（プロローグ付き第2幕）、「ボレロ」の2作品と解説を加えた映像作品を、オンラインで配信した。

配信期間：令和8年2月3日（火）～16日（月）

会 場：各中学校

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

特別協賛：株式会社ニトリ

出 演：東京バレエ団

プログラム：「白鳥の湖」プロローグ付き第2幕
「ボレロ」（モーリス・ベジャール振付）

対 象：札幌市内の中学2年生

参加料：無料

視聴人数：483人（参加校8校）

④小林沙羅&大西宇宙によるトークイベント &公開レッスン（再掲）

⑤MINYOワークショップ（再掲）

⑥hitaruバレエプロジェクト×札幌芸術の森 バレエセミナー

パリ・オペラ座バレエ団ジル・イゾアール氏の公開トーク～男性ダンサーとダンス教育の現在（いま）～（再掲）

⑦バレエのための音楽講座（再掲）

⑧若手歌手のための身体表現研修（再掲）

⑨hitaru 劇評入門

「観る」「語る」「書く」で深める演劇体験（再掲）

⑩避難訓練コンサート

市民に来場者として参加していただき、公演中の劇場からの避難、誘導の訓練を行った。訓練後、舞台機構と劇場の特徴について解説する見学会を行った。



期 日：令和7年10月22日（水）開演13:30

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

出 演：札幌市消防音楽隊、札幌大谷大学芸術学部音楽学科管弦打楽コース

曲 目：スターウォーズ&スーパーマン ファンファーレ
ほか

参加料：無料

参加者数：889人

市民交流プラザ事業部

主催事業

4 交流事業

札幌文化芸術劇場 hitaru、クリエイティブスタジオ、札幌文化芸術交流センター SCARTS、札幌市図書・情報館など、さまざまなジャンルの事業展開が可能な札幌市民交流プラザの特性を活かし、多様な市民に参加・交流の場を提供して、多くの市民が文化芸術に触れることで施設のにぎわい創出につながる事業を実施した。

①BODY&SOUL Kids★Party

～がおがお！音獣ますかれーどの巻～

BODY&SOUL Kids★Party の第2弾として、市内で活動する若手アーティストとの共同企画により、踊りや演奏を通じたノンバーバル・コミュニケーションの楽しさ、奥深さを体験できる子ども向けイベントを開催した。

また、札幌大谷大学と連携し、ファッションデザイナー・大学講師の石岡美久が出演者衣裳を手掛けたほか、芸術学部美術学科の学生が子どもたちへ配布した仮装グッズを制作した。



期 日：令和7年8月6日（水）開始14:00

7日（木）開始11:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会、公益財団法人札幌国際プラザ

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化総合推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

出 演：西野留以/ストリートダンス（ボスおどり獣るい）、酒井颯太/ドラム（ボスりずむ獣そうた）、Fe.dance studio ダンスアシスタント（おどり獣）、音楽アシスタント（りず

む獣）

衣 裳：石岡美久（ファッションデザイナー・札幌大谷大学講師）、札幌大谷大学芸術学部美術学科 学生 10名

参加料：親子チケット 3,000円、
子ども単独チケット 1,000円

参加者数：6日（水）キャスト 53人、他 55人

7日（木）キャスト 46人、他 68人

②プラザフェスティバル2025

新国立劇場バレエ団「シンデレラ」（再掲）

⑤ 舞台技術向上の取組

舞台技術者の技術の向上や知識・経験の共有を図るため、舞台技術者を対象としたセミナーを開催した。

また、他の劇場や芸術団体と連携・協力し、地元の文化芸術の水準を高めるための取組として、舞台監督等の技術協力支援を行った。

さらに、将来の舞台技術者の育成を図る取組の一つとして、専門学校生、大学生向けの hitaru 施設見学会を開催した。

①第6回 hitaru 舞台技術セミナー 「劇場客席の響き」

札幌及び北海道の中核劇場として、市内道内の舞台技術者の技能向上と技術・経験の共有を目的に、道内公共ホールや舞台技術業者、舞台系専門学校等に広く参加を呼びかけ、「第6回 hitaru 舞台技術セミナー」を開催した。



期 日：令和8年1月26日（月）、27日（火）

1月26日（月）

①ゼミ1「実験資料を基に①」13:30～14:45

②ゼミ2「実験資料を基に②」15:00～15:45

③ゼミ3「色々な条件で本客席にて聴き比べ」
16:00～17:30

1月27日（火）

④ゼミ4「座学編 イマーシブオーディオの基礎を学ぶ」10:00～11:15

⑤ゼミ5「体験編 イマーシブオーディオを実際に体感・検証」11:30～12:45

⑥劇場見学（自由参加）13:45～15:30

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

協 力：ヤマハサウンドシステム株式会社

講 師：佐々木忠（札幌文化芸術劇場音響セクションチーフ）、阿部充志（ケイズサウンド株式会社）

社）、齋藤玲（札幌文化芸術劇場舞台技術担当課長）、伊藤久幸（札幌文化芸術劇場舞台技術アドバイザー）、松田光史（ヤマハサウンドシステム株式会社）、木村優佳（ヤマハサウンドシステム株式会社）

実 演：今野博之（バリトン）、今野くる美（ピアノ）、坂本夕佳（ヴァイオリン）

参加料：無料

参加者数：83人（26日 57人、27日 66人）

②技術協力支援

高度な舞台機構や音響・照明設備を活用できる本劇場の舞台技術スタッフが他の劇場、音楽堂等及び実演芸術団体等と連携・協力し、地元の文化芸術の水準を高めるための取組として、舞台監督等の技術協力支援を行った。

（1）札幌舞踊会 ジュニアバレエコンサート 支部カルチャー発表会

期 日：令和7年6月14日（土）、15日（日）

会 場：札幌市教育文化会館 大ホール

主 催：有限会社札幌舞踊会

入場者数：1,300人（14日 580人、15日 720人）

（2）第16回アンジュバレエスタジオ定期発表会

期 日：令和7年7月19日（土）～21日（月・祝）

会 場：帯広市民文化ホール 小ホール

主 催：アンジュバレエスタジオ

入場者数：500人

（3）小林絹恵バレエスタジオ 15周年記念公演

期 日：令和7年8月4日（月）、5日（火）

会 場：札幌市教育文化会館 大ホール

主 催：小林絹恵バレエスタジオ

入場者数：1,061人

（4）YASUバレエスタジオ 高田美穂バレエスタジオ Anniversary Stage 2025

期 日：令和7年9月6日（土）、7日（日）

会 場：砂川市地域交流センターゆう 大ホール

主 催：YASUバレエスタジオ、高田美穂バレエスタジオ

入場者数：350人

市民交流プラザ事業部

主催事業

(5) 2025北海道現代舞踊フェスティバル in さっぽろ

期 日：令和7年9月12日（金）、13日（土）
会 場：札幌市生涯学習センター ちえりあホール
主 催：一般社団法人現代舞踊協会北海道支部
入場者数：284人

(6) 第41回 全道バレエフェスティバル・イン・サッポロ

期 日：令和7年9月26日（金）～28日（日）
会 場：札幌市教育文化会館 大ホール
主 催：公益社団法人日本バレエ協会
入場者数：1,500人

(7) FAREWELL2025 くるみ割り人形全幕

期 日：令和7年12月15日（月）～17日（水）
会 場：札幌市教育文化会館 大ホール
主 催：We Love Ballet 実行委員会
入場者数：2,287人（計3公演）

(8) 第66回子ども舞踊祭

期 日：令和8年3月26日（木）、27日（金）
会 場：札幌市教育文化会館 大ホール
主 催：札幌洋舞連盟
入場者数：1,050人

③学生向け hitaru 施設見学会

将来の舞台技術者の育成を図る取組の一つとして、市内専門学校・大学の学生を対象に、劇場及びクリエイティブスタジオの施設見学会を開催した。

期 日：令和7年4月22日（火）13:00～16:00
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru（劇場、クリエイティブスタジオ）
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
協 力：株式会社北海道ステージアートアライアンス
解 説：伊藤久幸（札幌文化芸術劇場舞台技術アドバイザー）、齋藤玲（札幌文化芸術劇場舞台技術担当課長）

参加料：無料

参加者数：150人（専門学校生 144人、引率 6人）

札幌文化芸術交流センターに関する事業

1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

誰もが気軽に文化芸術に触れられる場や機会の創出を通して、にぎわいを生み出す事業を展開した。

また、地元アーティストや他分野との連携などにより、札幌ならではの特徴的な事業を構築し、地域の魅力づくりに寄与するとともに、SCARTSの発信に繋がった。

【SCARTS メディアアーツシリーズ】

メディアアーツ都市さっぽろの取り組みの充実に資する事業として、北海道大学 CoSTEP や札幌市教育委員会などの機関と連携し、若い世代に向けた事業を実施した。

SCARTS×CoSTEP アート＆サイエンスプロジェクト

札幌文化芸術交流センター SCARTS と北海道大学 CoSTEP が協働し、若い世代のアートとサイエンスに対する探究心や感性を育むことを目的としたプロジェクト。科学的トピックを起点に、アーティストの探究・創作と、高校教育の探究学習へとつながる取り組みを、二つの軸として展開した。アーティストは研究者との対話やリサーチを通してテーマを表現へと結びつける一方、その思考や視点は教育の文脈に翻訳され、ワークショップツールの開発や鑑賞教育への活用を試み、トークイベントや成果発表会を通じて、その過程と成果をひらいた。

①時間展望—もっと先の自分へ Part 2

昨年度に開催した、アーティストと研究者と考えるオープンミーティング「時間展望—もっと先の自分へ」の続編として実施したプログラム。本事業のテーマである公衆衛生学の分野で取り組まれる「プレコンセプションケア」をさらに深める機会とし、研究者によるレクチャーで科学的知見に触れたり、SCARTSとCoSTEPで開発を進めているツールを用いて参加者らとともに未来を想像するワークショップを実施した。



撮影：門間友佑

期 日：令和7年7月31日（木）14:00～17:00

会 場：SCARTS モールC

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、北海道大学 大学院教育推進機構 オープンエデュケーションセンター 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）、札幌市

登壇者：玉腰暁子（北海道大学 大学院医学研究院 教授）、石川奈保子（北海道大学 高等教育推進機構 准教授）

モデレーター：奥本素子（北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）部門長、准教授）、朴炫貞（北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）特任講師）

参加料：無料

参加者数：10人

②高校生対象のワークショップ

高校生がテーマ「プレコンセプションケア」を身近な問いとして受け止め、自分や他者の生き方に目を向けるきっかけとなることを目指し、ワークショップツール「プレコン！」を北海道大学 CoSTEP と協働して開発。北海道札幌啓成高等学校と立命館慶祥中学校・高等学校（高等部）へ訪問し、プロトタイプ版によるワークショップを実施した。

1. 北海道札幌啓成高等学校

期 日：令和7年6月19日（木）13:25～14:15

会 場：北海道札幌啓成高等学校

参加者数：36人

2. 立命館慶祥中学校・高等学校（高等部）

期 日：①令和8年1月19日（月）10:45～14:20

② 20日（火）8:45～9:35

③ 24日（土）8:45～11:35

会 場：立命館慶祥中学校・高等学校（高等部）

参加者数：① 208人 ② 102人 ③ 310人

市民交流プラザ事業部

主催事業

③札幌市立高校特別プログラム「あかさかな」

北海道大学 CoSTEP と協働し、札幌市立高校公認・市立高校生を対象としたプログラムを実施した。アートと科学の視点から「魚」を入りに、海の環境問題や漁業にまつわる社会課題を探る探究プログラムとして、すぐに答えを求めるのではなく、問いを生み出す力を育むことを目指した。

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、北海道大学 大学院教育推進機構 オープンエデュケーションセンター 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）、札幌市

協 力：札幌市教育委員会、国立大学法人北海道大学 産学・地域協働推進機構 社会・地域創発本部

助 成：令和7年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業
参加料：無料

第1回「アーティストの視点① ワークショップ」

プログラム内で使用するオリジナルの「ワークブック」の紹介と、アーティストによるワークショップを実施した。「海の音」に着目し、音の性質に関する科学的な講義ののち、アートの視点からサウンドスケープを体験。参加者が「魚」になりきり、音を手がかりに出口を探すという実験的なパフォーマンスを行った。



撮影：岡田昌紘

期 日：令和7年10月26日（日）10:00～16:00

会 場：SCARTS コート

講 師：OTOMONO（カロナリス・ステファノ＋齋藤悠）

進 行：奥本素子（北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）部門長、准教授）

参加者数：10人

第2回「現場&研究者の視点」

仲卸業者と漁師による話題提供と、研究者による養殖に関する研究の紹介を行った。漁業の現場の課題を聞き、持続可能性を考えた漁法で漁獲したタコの試食を行ったほか、養殖におけるシミュレーションの最新研究を知るなど、水産業の今と将来について多角的に考える機会とした。



撮影：岡田昌紘

期 日：令和7年11月15日（土）10:00～15:00

会 場：北海道大学オープンイノベーションハブ エンレイソウ

講 師：本間雅広（一鱗共同水産株式会社 取締役副社長/一般社団法人 DO FOR FISH 代表理事）、小笠原宏一（タコ漁師/inakaBLUE 代表/一般社団法人 DO FOR FISH 理事）、高橋勇樹（北海道大学大学院水産科学研究院 准教授/博士（水産科学））

進 行：奥本素子（北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）部門長、准教授）

参加者数：17人

第3回「アーティストの視点② 映画鑑賞＋トーク」

坂本麻人監督のドキュメンタリー映画『A TROUT IN THE MILK／ミルクの中のイワナ』を鑑賞し、その後、作品の背景や制作についてアフタートークを行った。種や環境保全について様々な視点で考える機会とし、高校生からは多くの質問が寄せられた。



撮影：岡田昌紘

期 日：令和7年12月14日（日）14:00～17:00

会 場：SCARTS コート

講 師：坂本麻人（ドキュメンタリー映画監督）

進 行：朴炫貞（北海道大学 科学教育科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）特任講師、アーティスト）

参加者数：35人

第4回「まとめの会」

「あかさかな」各回を振り返り、考えたことを発表するまとめの会を開催した。



期 日：令和8年2月8日（日）10:00～12:00

会 場：SCARTS モールC

進 行：奥本素子（北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）部門長、准教授）、朴炫貞（北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）特任講師）

参加者数：5人

④市原佐都子「肉の上を粘菌は通った」

劇作家の市原佐都子を招聘アーティストとして迎え、テーマ「プレコンセプションケア」について探究した成果を展示。市原はテーマをもとに人間の生殖活動を問い直すモノログを書き下ろし、リサーチで出会った「粘菌」や「AI」もモチーフとしながら作品の制作に挑んだ。北海道大学研究者からのアドバイスのほか、アーティスト・岸裕真を協働制作者に迎え、粘菌の動きから合唱曲を生成したフィクションの世界をインスタレーション作品として展開した。各会場に、事業説明・新作展示・市原の過去作の記録映像上映・制作過程や研究者の紹介といった役割を整理し、成果作品への理解を深めながら施設全体を回遊できる会場構成とした。



撮影：岡田昌紘

期 日：令和8年1月31日（土）～2月11日（水・祝）
10:00～17:00

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、
SCARTS モールA・B・C

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、北海道大学 大学院教育推進機構 オープンエデュケーションセンター 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）、札幌市

後 援：札幌市教育委員会

協 力：北海道大学 電子科学研究所 知能数理研究分野

助 成：令和7年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

アーティスト：市原佐都子（劇作家・演出家・小説家・城崎国際アートセンター芸術監督）、岸裕真（アーティスト）

入場料：無料

入場者数：3,323人

市民交流プラザ事業部

主催事業

<関連プログラム>

1. アーティスト×研究者トーク

期 日：令和8年1月31日（土）14:00～15:30

会 場：SCARTS モールC

登壇者：市原佐都子（劇作家・演出家・小説家・城崎国際アートセンター芸術監督）、岸裕真（アーティスト）、中垣俊之（北海道大学 電子科学研究所 知能数理研究分野 教授）、越後谷駿（北海道大学 電子科学研究所 知能数理研究分野 特任助教）、朴炫貞（北海道大学 CoSTEP 特任講師）

司 会：木ノ下智恵子（SCARTS 事業統括ディレクター）

参加者数：60人

2. おしゃべりアート

期 日：令和8年2月7日（土）、8日（日）

11:00～14:00

会 場：SCARTS コート、SCARTS モールA・B・C

企 画：札幌アートコミュニケーターズ

参加者数：52人

⑤市立高校プレゼンテーション大会2025

札幌市教育委員会と連携し、市立高校・特別支援学校における教育や各種取組について理解を深める機会として在校生による探究学習のステージ発表や学校紹介のポスターセッションを開催した。



期 日：令和8年3月8日（日）13:00～17:00

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、SCARTS モールA・B・C

主 催：市立高等学校・特別支援学校長会、札幌市、札幌市教育委員会

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

参加料：無料

参加者数：全会場のべ 2,000人

【SCARTS 連携事業】

これまで市内各所で行われてきた、SCARTS にはない他分野（経済産業・福祉・教育など）における様々な取り組みや、連携協定先、財団内他事業部、市民交流プラザ内他課などと連携し、より効果的な市民への普及を図ることを目的とした事業を実施した。

①大学連携コンサート

札幌市芸術文化財団が連携協定を結ぶ北海道教育大学、札幌大谷大学と協力し、次世代を担う若手音楽家に発表の機会を提供するとともに、市民が気軽に文化芸術に触れる場を創出することを目的として、コンサートを実施した。

（1）大学連携コンサート

北海道教育大学岩見沢校

「退廃の烙印をおされた作曲家たち」をテーマに、クラシック音楽の多面的な魅力を市民にアピールするコンサートを開催した。



撮影：Hiroharu Takeda

期 日：①令和7年8月19日（火）開演18:30

② 20日（水）開演14:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会

協 力：北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツ文化学科 音楽文化専攻

出 演：永瀧陽菜（ピアノ）、鈴木沙英（ピアノ）、中山美南（ピアノ）、征矢春音（フルート）、鈴木萌々夏（メゾソプラノ）

ナビゲーター：①段木涼太、②福地妃菜美（HTB 北海道テ

札幌文化芸術交流センターに関する事業
1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

レベ放送アナウンサー)

曲 目：バルトーク：ルーマニア民族舞曲

バルトーク：ピアノソナタ Sz.80 第1、3
 楽章

アイスラー：ドイツのミゼラレー

アイスラー：ひとりのコールガールの歌

ヴァイル：“三文オペラ”より メッキーマッ
 サーのモリタート

ヴァイル：“三文オペラ”より セックスの
 膚のバラード

ヴァイル：“三文オペラ”より 海賊ジェニー

ベルク：ピアノ・ソナタ短調 Op.1

入場料：全席自由 無料

入場者数：① 59人 ② 73人

(2) 大学連携コンサート 札幌大谷大学

「舞踊と物語の旅」をテーマに、札幌大谷大学芸術
 学部音楽学科演奏クラスの学生による演奏をお届けし
 ました。ナビゲーターによる解説付きでピアノとサクソフォ
 ンによる多彩な楽曲を紹介し、様々な世代の鑑賞者に
 楽しんでいただいた。



撮影：Hiroharu Takeda

期 日：令和7年10月25日(土)

①開演14:30 ②開演17:30

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌
 市芸術文化財団)

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂
 等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強
 化総合支援事業) 独立行政法人日本芸術文化
 振興会

協 力：札幌大谷大学 芸術学部 音楽学科

出 演：渡辺咲水(ピアノ)、太齋柊也(サクソフォ
 ン)、本元日陽奈(ピアノ)、三上隆太郎(ピ
 アノ)

ナビゲーター：森唯菜(HTB北海道テレビ放送アナウンサー)

曲 目：サン＝サーンス：死の舞踏

チャイコフスキー：ドゥムカ ―ロシアの農
 村風景― Op.59

ボロディン：ダッタン人の踊り

ウェニャン：ラプソディ

入場料：全席自由 無料

入場者数：① 67人 ② 48人

②NoMaps2025

札幌・北海道を舞台にクリエイティブな発想や技術
 で次の社会・未来を創ろうとする人たちのための交流
 の場として、カンファレンス・展示・イベント・交流・
 実証実験などさまざまな取り組みを行った。



期 日：令和7年9月10日(水)～14日(日)

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、
 SCARTS モールA・B・C、クリエイティ
 ブスタジオ

主 催：NoMaps 実行委員会

入場料：イベントによる

入場者数：2,397人

市民交流プラザ事業部

主催事業

③第54回 SAPPORO ぶんだんきょうフェスティバル ー展示・いけ花・お茶席部門ー

札幌文化団体協議会に加盟する会員（団体・個人）が、日頃の研鑽の成果を発表する年に一度の機会。絵画・造形美術・書・陶芸・工芸・川柳・俳句・いけ花・茶道など、札幌を代表する芸術家が一堂に会し、多様な展示を実施した。



画像提供：札幌文化団体協議会

期 日：令和7年8月8日（金）～10日（日）

10:00～18:00（最終日は17:00まで）

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、SCARTS モールA・B・C

主 催：札幌文化団体協議会

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、北海道新聞社

後 援：札幌市

協 賛：三浦印刷株式会社

入場料：無料

入場者数：2,886人

④第7回こどもアール・ブリュット 北海道みらい作品展

小学校・中学校・特別支援学級を含む全ての義務教育学校及び中等教育学校、特別支援学校の小・中・中学部の児童生徒から作品を募り、作品を展示した。



画像提供：北海道文化団体協議会

期 日：令和7年8月15日（金）～17日（日）

10:00～18:00（最終日は17:00まで）

会 場：SCARTS モールA・B

主 催：北海道文化団体協議会

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道、札幌市、北海道教育委員会、札幌市教育委員会、北海道教育大学、北海道社会福祉協議会、札幌市社会福祉協議会、北海道文化財団、札幌市芸術文化財団、北海道身体障害者福祉協会、北海道共同募金会

協 力：医療法人トルチュ氏家記念こどもクリニック、セコム株式会社、北海道アールブリュットネットワーク協議会、北海道陶芸協会

入場料：無料

入場者数：711人

⑤さっぽろアートステージ2025

ART STREET

美術、音楽、演劇といった多彩な芸術分野に多くの市民が参加できる場を提供してきた「さっぽろアートステージ」。SCARTS会場では、アーティストと一緒に子どもたちが作品制作をするワークショップや、その作品の展示、大学生の作品コンペなどを行った。



期 日：令和7年11月8日（土）～24日（月・休）

10:00～19:00

会 場：SCARTS コート、SCARTS モールA・B

主 催：札幌市、さっぽろアートステージ実行委員会（札幌劇場連絡会、札幌市中学校文化連盟音楽専門委員会、北海道高等学校文化連盟石狩支部音楽専門部、AIR-G' FM北海道、CAI 現代芸術研究所、札幌駅前通まちづくり株式会社、札幌市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団））

入場料：無料

入場者数：5,450人

(1) University Student ART Competition

期 日：令和7年11月8日(土)～24日(月・休)

10:00～19:00

会 場：SCARTS モールA

参加校：札幌大谷大学、札幌市立大学、星槎道都大学、
北翔大学、北海道教育大学岩見沢校、北海道
教育大学札幌校

審査員：吉崎元章(本郷新記念札幌彫刻美術館館長)、
浅沼敬子(北海道大学文学部・文学院芸術学
研究室 教授)、山本謙一(NPO法人S-AIR)、
端聡(美術家/さっぽろアートステージ美術
部門総合プロデューサー)

参加者数：3,801人

(2) キッズアートフェス

期 日：令和7年11月8日(土)～24日(月・休)

10:00～19:00

会 場：SCARTS モールA・B

参加者数：3,060人

<関連プログラム>

1. 大きな壁画を描いてみよう!

期 日：令和7年11月8日(土)、9日(日)、

15日(土)、16日(日) 各日10:30～12:00

会 場：SCARTS コート

講 師：田中マリナ(イラストレーター/画家)

参加者数：53人

2. フィルム写真の撮影と現像を楽しもう!

2日連続ワークショップ

期 日：①令和7年11月8日(土)・9日(日)

② 15日(土)・16日(日)

会 場：SCARTS コート

講 師：山本和龍美(写真家)

参加者数：20人

3. 画材でないもので創造的な絵を描いてみよう!

期 日：令和7年11月8日(土)、9日(日)、

15日(土)、16日(日) 各日13:00～14:30

会 場：SCARTS モールB

講 師：山田啓貴(美術家)

参加者数：40人

⑥能藤玲子創作舞踊団「神の舌―夢の入口」

新規

砂澤ビッキの代表作《神の舌》を舞台美術として迎え、能藤玲子の新作を上演した。能藤玲子と自身が率いる舞踊団のほか、北海道内で活動する4名の舞踊家が客演。総勢12名が《神の舌》にみられる屈折をモチーフに舞い、舞踊と彫刻が融合する世界観で観客を魅了した。また、アフタートークなどの様々な関連イベントを実施した。



撮影：kenzo kosuge

期 日：①令和8年1月23日(金) 開演19:00

② 24日(土) 開演15:00

③ 25日(日) 開演13:30

※1月25日は、大雪のため開演時間を変更

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)、能藤玲子創作舞踊団

共 催：札幌芸術の森美術館(札幌市芸術文化財団)、
北海道新聞社

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

協 力：本郷新記念札幌彫刻美術館・札幌コンサート
ホール(札幌市芸術文化財団)、株式会社エ
ゾシカ旅行社

創作・演出：能藤玲子

舞台美術：砂澤ビッキ

出 演：能藤玲子、稲村泰江、五十嵐里香、東佐由理、
伊藤葉子、齋藤千春、小松昂太、タイラハルカ
(能藤玲子創作舞踊団)、赤川智保、西崎鼓美、
布上道代、行貞悦子(客演)

入場料：全席指定 一般 4,000円、U25 2,000円

入場者数：① 119人 ② 117人 ③ 110人

<関連プログラム>

1. 【財団内連携】館長と梅村学芸員の日曜
講話 ―彫刻編―「砂澤ビッキ」(再掲)

2. 【財団内連携】Kitara ギャラリー
「能藤玲子×砂澤ビッキ」(再掲)

3. アフタートーク

公演終演後に、砂澤ビッキ夫人である砂澤涼子を交えたアフタートークを実施した。

期 日：令和8年1月24日(土) 16:20~16:40

会 場：クリエイティブスタジオ

登壇者：砂澤涼子(砂澤ビッキ夫人)、能藤玲子(創作舞踊家)、五十嵐聡美(美術史家)、佐藤康平(札幌文化芸術交流センター SCARTS 事業担当係長)

入場料：無料(1月24日公演チケット必要)

⑦SCARTS×さっぽろ天神山アートスタジオ
「天神山、みたび、まちにいく。」

「天神山アートスタジオ」と交流のある台湾の「Absolute Space for the ARTS」にて活動を行ったアーティスト松田朕佳の映像作品の展示・トークイベントのほか、「AIR (Artist in Residence) のすべて」と題した、札幌のアーティストたちと制作の「場所」に関する座談会を開催した。



期 日：令和8年2月14日(土) 12:00~18:00

会 場：SCARTS スタジオ1・2

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)、さっぽろ天神山アートスタジオ／一般社団法人 AIS プランニング

アーティスト：Program 1 松田朕佳

Program 2 鈴木悠哉、進藤冬華、上ノ大作、久野志乃、クスマエリカ、風間雄飛、小林知世、山本雄基、なえぼのアートスタジオ、平井終哉、堀江理人、森山美桜、鷺尾幸輝、0 地点

入場料：無料

入場者数：89人

⑧札幌市立大学デザイン学部公開講座
「アートにであう」

札幌市立大学の学生が、札幌市民交流プラザにある《凹みスタディ-札幌のかたちを巡る2018》を題材として、様々なワークショップを企画。チームに分かれ7つのワークショップを行った。

また、同作品を手がけたアーティスト・谷口顕一郎と植物分類学の中で水草を専門とする山崎真実を迎え、石狩川のフィールドワークを共通項に人為の痕跡と再自然化について考察した。



期 日：令和7年6月21日(土) 12:30~16:00

会 場：SCARTS モールC、札幌市図書・情報館1階

主 催：札幌市立大学デザイン学部

共 催：札幌市博物館活動センター、札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)、札幌市図書・情報館

参加料：無料

参加者数：ワークショップ 204人、トーク 56人

⑨札幌市図書・情報館セミナー

隣接する札幌市図書・情報館の企画により、最新の情報を提供することをコンセプトに「WORK」、「LIFE」、「ART」、「札幌の魅力」をテーマとしたオリジナルのセミナーを開催した。

(1) FAH_ver.9 ― ここで言葉を交換する

期 日：令和7年5月10日(土) 13:00~16:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

講 師：加藤修平(ミュージシャン)

進 行：高市佳明(NHK アナウンサー)

音 楽：加藤修平/mitome ren (PROVO)

入場料：無料

入場者数：67人

(2) 女性のための起業のヒント

期 日：令和7年5月22日（木）18：30～20：00

会 場：SCARTS コート

主 催：一般財団法人さっぽろ産業振興財団、札幌市
図書・情報館、札幌文化芸術交流センター
SCARTS（札幌市芸術文化財団）、札幌商工
会議所

協 力：札幌市男女共同参画センター

講 師：小西麻衣(合同会社my 企画(Local Business
Lab) 中小企業診断士)、もりもとゆうこ
(ゆうこ先生のスマホ教室講師)、横山妃美子
(カムイエム合同会社 代表社員)

入場料：無料

入場者数：48人

(3) 札幌市図書・情報館×フェアトレード 北海道連携セミナー「対話から始まる 平和と持続可能性」

期 日：令和7年6月28日（土）11:00～12:30

会 場：SCARTS コート

主 催：フェアトレード北海道、札幌市図書・情報館、
札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌
市芸術文化財団）

講 師：大橋正明（SDGs 市民社会ネットワーク共同
代表理事）

入場料：無料

入場者数：33人

(4) つくる・たべる・つなぐ。 ～いま、“フードロス”と向き合う～

期 日：令和7年7月12日（土）13:30～15:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流セン
ター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

講 師：木村健太郎（株式会社フードバリエーション
代表取締役）

入場料：無料

入場者数：21人

(5) ラジオで寄り添い、ラジオでつながる ～三角山放送局の歩む道～

期 日：令和7年8月2日（土）13:30～15:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流セン
ター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

講 師：杉澤洋輝（株式会社らむれす・三角山放送局
代表取締役）

入場料：無料

入場者数：29人

(6) 「社会貢献」で起業する ソーシャルビジネスセミナー in SAPPORO

期 日：令和7年8月21日（木）18:30～20:30

会 場：SCARTS コート

主 催：一般財団法人さっぽろ産業振興財団、日本政
策金融公庫、北海道ソーシャルビジネス支援
ネットワーク、札幌市図書・情報館、札幌文
化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術
文化財団）

後 援：札幌市

講 師：丸山維乃（株式会社ホスキュア 代表取締役）、
佐々木浩一（株式会社PTS 代表取締役）、
川内佑紀（株式会社YAKUSHO 代表取締
役）、河西邦人（札幌学院大学教授）

入場料：無料

入場者数：39人

(7) 劇団イナダ組×法テラス 法テラス劇場「終活・遺言・詐欺」

期 日：令和7年10月11日（土）13:30～14:45

会 場：SCARTS コート

主 催：日本司法支援センター札幌地方事務所（法テ
ラス札幌）、札幌市図書・情報館、札幌文化
芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文
化財団）

作・演出：イナダヒロシ（劇団イナダ組）

解 説：伊藤考一（弁護士）

出演役者：山村素絵、吉田諒希、須本早貴

入場料：無料

入場者数：128人

市民交流プラザ事業部

主催事業

【SCARTS パブリックリレーションズ】

SCARTSを身近な存在として認知してもらうことを目指し、ウェブやSNSなどの様々な媒体を活用して情報発信を行った。西2丁目地下歩道における映像制作プロジェクトやプラザフェスティバルを開催した。

①西2丁目地下歩道映像制作プロジェクト

(1) 西2丁目地下歩道映像上映

さっぽろ地下街オーロラタウンと札幌市民交流プラザをつなぐ「西2丁目地下歩道」を舞台にした映像制作プロジェクトとして、4面プロジェクションで構成されたスクリーンに6作品を上映した。

期 日：令和7年4月1日（火）～8月1日（金）

会 場：西2丁目地下歩道

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

入場料：無料

上映作品：スタジオロッカ《UNDER UNIVERSE》
（2019年）

大木裕之《トシ シ》（2020年）

野口里佳《虫・木の葉・鳥の声》（2020年）

アピチャップン・ウィーラセタクン《憧れの地（The Longing Field）》（2021年）

小田香《Underground》（2022年）

空族《ILHA FORMOSA》（2023年）

②プラザフェスティバル2025

10月の市民交流プラザの開館を記念し、にぎわい創出を目的とするイベントを各種団体との連携により実施した。

(1) アートセンターミーティング ー地域の活動支援を考えるー

SCARTSでは、アートセンターの役割や可能性を多角的な視点で考察するため、今回は「活動支援」をテーマに、アート以外の領域においても市民のさまざまな活動をサポートする市内施設のスタッフをゲストに迎え、相談対応や支援の取り組みについてディスカッションを行った。

期 日：令和7年10月3日（金）18:30～20:30

会 場：札幌市図書・情報館1階

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、札幌市図書・情報館

後 援：札幌市



撮影：Asako Yoshikawa

登壇者：上杉直洋（札幌市市民活動サポートセンター 係長）、松本弘美（札幌市若者支援総合センター 係長）、渋谷しのぶ（札幌市図書・情報館 司書）

モデレーター：吉本光宏（合同会社文化commons研究所 代表）

モデレーター：松本桜子（札幌文化芸術交流センター SCARTS 事業係長）

入場料：無料

入場者数：57人

(2) MORIHICO. マルシェ・ドゥ・グルニエ エ×プラザマルシェ

コーヒーブランド「MORIHICO.」がプロデュースする、Marché de GRENIER×PLAZA MARCHÉ。MORIHICO.の珈琲豆や焼き菓子をはじめ、小物やオブジェを販売した。



期 日：令和7年10月3日（金）～10月5日（日）
11:00～19:00

※3日12:00開場、5日17:00閉場

会 場：SCARTS モールA・B

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

プロデュース：MORIHICO.

入場料：無料

入場者数：130人

札幌文化芸術交流センターに関する事業
1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

(3) 推しアニメーションガイド Vol.2

アニメーション監督の岩井澤健治を迎え、監督が推薦する短編アニメーション作品＝「推しアニメーション」を観ながら、作家の視点で現代のアニメーションの魅力を探った。



撮影：門間友佑

期 日：令和7年10月4日（土）16:00～18:30

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、新千歳空港国際アニメーション映画祭、札幌市

後 援：札幌市教育委員会

助 成：令和7年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

ゲスト：岩井澤健治（アニメーション監督）

入場料：無料

入場者数：53人

(4) 新千歳空港国際アニメーション映画祭
presents

コマ撮りアニメーション制作体験
「KOMA KOMA スタジオ」

子どもから大人まで楽しくカンタンにコマ撮りアニメーションを制作できるアプリ「KOMA KOMA」を使って、気軽にアニメーション制作を楽しむことができるワークショップを開催した。



撮影：門間友佑

期 日：令和7年10月4日（土）11:00～16:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、新千歳空港国際アニメーション映画祭、札幌市

企 画：新千歳空港国際アニメーション映画祭

協 力：ダブルエムエンタテインメント株式会社、有限会社トリガーデバイス

参加料：無料

参加者数：106人

(5) 札幌市図書・情報館×SCARTS

トークイベント「What Is ZINE?」

札幌で2011年に始まったZINEの祭典「NEVER MIND THE BOOKS」の魅力を紹介するトークイベントを開催した。トークでは、「NEVER MIND THE BOOKS」の名称の由来や、ZINEへの思いなどZINEの魅力を語っていただいた。



撮影：Asako Yoshikawa

期 日：令和7年10月5日（日）15:00～16:30

会 場：SCARTS コート

登壇者：菊地和広（グラフィックデザイナー）、
那珂隆之（グラフィックデザイナー）、
草階彩香（札幌市図書・情報館 司書）

主 催：札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

入場料：無料

入場者数：73人

市民交流プラザ事業部

主催事業

(6) 札幌市図書・情報館×SCARTS おしごとトーク・図書館ツアー

図書館とアートセンターの隣接する施設で働く司書やスタッフが、互いの仕事について語り合うトークイベントを開催した。各施設の業務の流れや事業内容を紹介し合い、参加者との質疑応答も行った。



期 日：令和7年10月5日（日）
おしごとトーク 13:00～14:00
図書館ツアー 14:00～14:30

会 場：札幌市図書・情報館1階

主 催：札幌市図書・情報館、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

登壇者：中沢晃美（札幌市図書・情報館）、若林はるか（札幌市図書・情報館）、佐藤康平（札幌文化芸術交流センター SCARTS 事業担当係長）、神守忍穂（札幌文化芸術交流センター SCARTS）

入場料：無料

入場者数：26人

(7) 札幌芸術の森クラフトキャラバン 『秋のアトリエ』（再掲）

2 文化芸術活動支援事業・ 文化芸術に関する調査研究事業

市民やアーティスト等の活動活性化やキャリアアップへの支援として、文化芸術情報を収集・発信できる場を提供するとともに、文化芸術に関する課題や悩みなどの相談も受け付けた。

また、文化芸術に関わる方々を対象とした講座等も開催し、札幌で文化芸術活動が行いやすくなるような環境づくりにつなげた。

【SCARTS サポート事業】

インフォメーションカウンターや相談サービス、助成金の交付、オンラインでの情報発信、貸館サポート、ラーニングプログラム、企画公募事業など、文化芸術活動を支えるさまざまな事業を実施した。また、国や他都市の動向や先進的な文化芸術活動などに関する基礎的な調査や研究を行った。

①SCARTS 相談サービス

アーティストや文化芸術団体を支援し、市内の文化芸術活動の活性化や質の向上に資することを目的に、事前予約制で、アーティストや文化芸術団体からの問い合わせ（活動場所、広報、助成金等）に対する情報提供やアドバイスを行った。

利用件数：38件

②SCARTS ラーニングプログラム

市民とともに学ぶさまざまな場を創出することを目的に、「SCARTS ラーニングプログラム」と題してレクチャー、ワークショップ、トークイベントなどを実施した。今年度は6つのイベントを通し、文化芸術活動の担い手の育成やアートに関する学びを深めることを目指した。

2 文化芸術活動支援事業・文化芸術に関する調査研究事業

(1) 推しアニメーションガイド

人気アニメーション作家の山田遼志を迎え、自身が推薦する短編アニメーション作品＝「推しアニメーション」を観ながら、作家の視点で現代のアニメーションの魅力を探るイベントを開催した。



撮影：門間友佑

期 日：令和7年5月4日（日・祝）15:00～17:00

会 場：SCARTS コート

主 催：新千歳空港国際アニメーション映画祭実行委員会、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

出演者：山田遼志（アニメーション作家）

入場料：無料

入場者数：48人

(2) おしえて！アートのおしごと【演劇編】
～“演出助手”って知ってる？～

演出助手チーム『SPM（Stage Processing Mom）』代表の丹治泰人を迎え、舞台公演における演出助手の仕事について、演出助手として活動するに至るまでの歴史を交えたレクチャーを行った。



期 日：令和7年8月5日（火）

レクチャー 13:30～16:00

おしゃべりタイム 16:00～17:00

会 場：SCARTS モールC

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、札幌市

後 援：札幌市教育委員会

助 成：令和7年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

講 師：丹治泰人（演出家、演出進行、SPM 代表）

参加料：無料

参加者数：29人

(3) アートセンターミーティング
～地域の活動支援を考える～（再掲）

(4) 推しアニメーションガイド Vol.2
（再掲）

(5) 公的支援を利用するために～文化芸術プロジェクトの“公益性”を考える～

全国の先進的な取り組みを共有し、札幌市で期待される文化芸術プロジェクトの可能性について議論するとともに、具体的な企画立案のプロセスを学ぶワークショップを行った。



期 日：令和7年10月18日（土）10:00～17:30

会 場：SCARTS スタジオ

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

講 師：杉浦幹男（クリエイティブ・ポート高松 プログラムディレクター）

参加料：無料

参加者数：37人

市民交流プラザ事業部

主催事業

(6) おしえて！アートのおしごと【舞踊編】 ～ダンス公演ってどうやってつくるの？～

講師にプロダンサーの鈴木明倫を迎え、ダンス公演にかかわる役割について、企画者・振付家・ダンサーの視点からレクチャーを実施した。また、参加者同士でグループワークを行い、レクチャーでの学びに対する理解を深めた。



期 日：令和8年3月21日（土）12:30～15:30
会 場：SCARTS スタジオ1・2
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
講 師：鈴木明倫（プロダンサー）
参加料：無料
参加者数：15人

③彫美連続講座2025（再掲）

④企画公募事業

SCARTS施設の多様な活用方法を示し、創造的なまちづくりに資することを目的に、公募から選定されたアーティストや団体による企画を、SCARTSと共同で実施した。

(1) SCARTS 企画公募2026

令和8年度に実施する事業の企画を公募した。
募集期間：令和7年7月1日（火）～8月15日（金）
応募件数：28件
採択件数：2件

(2) [令和7年度採択事業] Sumitto Art—望月澄人回顧展—

望月澄人（1949–2015）の初めてとなる回顧展を開催した。自ら執筆した書籍「マサカヤ亭奇譚」の挿絵と原画、立体作品、CG映像作品、ブログに書き留められた言葉などを紹介し、約75点の作品を通して望月の残した芸術を多角的に紹介した。



撮影：門間友佑

期 日：令和7年5月31日（土）～6月8日（日）
11:00～19:00
会 場：SCARTS コート
主 催：横須賀令子
共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）
入場料：無料
入場者数：1,244人

(3) [令和7年度採択事業] 宮本一行 雪面の歩行／アクティブ・サウンドウォーク

北海道大雪山系を歩き続けた経験から生まれた作品《雪面の歩行》（2023）を主軸に展開するサウンド・インスタレーションの展覧会。札幌のまちを歩く参加型ワークショップ「アクティブ・サウンドウォーク札幌」の成果物もあわせて展示した。本展覧会では、「サウンドスケープ」をかたちづくり、身の回りにひそむ音の風景を立ち上げることで、耳だけでなく「身体」で捉える音の世界を多くの方に体験いただいた。



撮影：船山哲郎

札幌文化芸術交流センターに関する事業
2 文化芸術活動支援事業・文化芸術に関する調査研究事業

期 日：令和7年8月28日（木）～9月7日（日）
10:00～18:00

会 場：SCARTS コート

主 催：宮本一行

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

協 力：アクティブ・サウンドウォーク札幌、OEoS（船山哲郎）

入場料：無料

入場者数：956人

<関連プログラム>

1. ワークショップ

アクティブ・サウンドウォーク札幌

期 日：令和7年8月28日（木）13:30～15:00

会 場：SCARTS コート

講 師：宮本一行、船山哲郎

参加料：無料

参加者数：4人

2. ギャラリートーク

環境から立ち上がる音響芸術

期 日：令和7年9月6日（土）18:30～19:30

会 場：SCARTS コート

出演者：宮本一行、石田勝也（メディアアーティスト）

参加料：無料

参加者数：25人

3. ヴァーチャル展示体験

期 日：令和7年8月28日（木）～9月7日（日）

参加料：無料

参加者数：153人

（4）〔令和7年度採択事業〕石垣絢子個展
シリーズ「言葉と音楽」Vol.VIII BOL
ERO～書×ヴァイオリン×ピアノ～

札幌市出身の作曲家、石垣絢子の作品演奏会。書家の小杉卓を迎え、音楽と書の融合作品を披露した。また、札幌交響楽団ヴァイオリニスト佐藤郁子による新曲の初演、ラヴェル生誕150年を記念し、「ボレロ」を書とヴァイオリンとピアノの編成で演奏した。



撮影：Hiroharu Takeda

期 日：令和7年7月20日（日）開演15:00

会 場：SCARTS コート

主 催：「言葉と音楽」石垣絢子

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

後 援：北海道新聞社、札幌交響楽団、(株)エルム楽器

入場料：全席自由 前売 一般 3,000円、学生 2,000円
当日 一般 3,500円、学生 2,500円

入場者数：74人

<関連プログラム>

公開リハーサル

期 日：令和7年7月18日（金）開演17:30

19日（土）開演14:00

会 場：SCARTS コート

入場料：全席自由 無料

入場者数：18日（金）17人 19日（土）25人

市民交流プラザ事業部

主催事業

(5) [令和7年度採択事業] 音の建築彫刻 —交差するBachとアンビエント—

能楽師、作曲家、美術家ら7人が、能やデジタル映像、フルートなどの演奏を融合させた総合舞台を披露した。「交差するBachとアンビエント」をテーマに、バッハの楽曲を織り交ぜながら出演者同士の共鳴を重ね、空間全体を一つの作品として形作った。



撮影：kenzo kosuge

期 日：令和7年12月20日（土）開演18:00

21日（日）開演15:00

会 場：SCARTS コート

主 催：CAI 現代芸術研究所

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

協 力：43d、スタジオシンフォニカ、A cubic、
【Naja】、札幌大谷大学芸術学部音楽学科

入場料：全席自由 4,000円

入場者数：20日（土）82人 21日（日）78人

⑤札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業

札幌市の文化芸術振興に賛同する方々からいただいた寄付を基に創設された「文化芸術振興基金」の運用益を活用し、札幌市を拠点に文化芸術活動を行う団体又は個人による、優れた活動に対してその費用の一部を助成し、札幌市における文化芸術振興やさらなる発展につなげることを目的として実施した。

《令和7年度 文化芸術振興助成金事業活動》

令和7年度は、特別助成事業に2団体、一般助成事業に13団体を採択し、採択団体向けの事務説明会や採択団体相互のネットワーク形成を目的とした交流会を開催。さらに、年度末には採択団体・個人による活動成果報告会を開催した。

(1) 採択活動一覧

1. 特別助成事業

- ・マドリガーレ・オペラ「土方歳三～炎の生涯～」
（全3幕）（北海道実験劇場）
- ・Northern Theater Project
[LAMP LAMP LAMP]（平原慎太郎）

2. 一般助成事業

- ・nincup ライブ「ラマチ ウケシコロ 魂を受け継ぐ」（一般社団法人 nincup）
- ・HDP DANCE PREMIUM 2025（一般社団法人北海道ダンスプロジェクト）
- ・「コウノトリが飛ぶ島国で、この部屋で」（OrgofA）
- ・人形浄瑠璃2026 さっぽろ人形浄瑠璃あしり座公演（さっぽろ人形浄瑠璃あしり座）
- ・札幌ハムプロジェクト若者ワークショップ公演（札幌ハムプロジェクト）
- ・『Yummy!』全国ワゴンツアー札幌公演（ダンボールシアター）
- ・もえぎ色第21回公演 「なびいて大正怪盗乱麻」
（パフォーマンスプロダクション COLORE）
- ・つながるアート展—臨床美術とアーツセラピーの仲間たち展—（特定非営利活動法人アート・ウイズ・ライト臨床美術）
- ・ポケット企画第11回公演「わが星」（ポケット企画）
- ・MY WORK 33 イラストレーション展（北海道イラストレーターズクラブアルファ）
- ・演劇ワークショップ上級編 5日間で作る演劇（北海道中学校演劇研究会）
- ・KITAKINEMA presents VOL.4（松山明憲（キタ・キネマ））
- ・朗読劇『この子たちの夏 1945・ヒロシマ ナガサキ』
（朗読劇団 夏の声）

(2) 助成金交付決定者説明会・交流会

期 日：令和7年4月24日（木）18:00～20:00

会 場：SCARTS スタジオ1・2

参加料：無料

参加者数：24人

(3) 助成金交付事業活動報告会



期 日：令和8年3月14日（土）13:00～17:00

会 場：SCARTS スタジオ1・2

参加料：無料

参加者数：30人

《令和8年度 文化芸術振興助成金事業活動》

令和8年度の助成対象活動を募集し、審査委員会により採択活動を決定した。募集にあたっては、説明会と個別相談会を実施した。

(1) 助成金交付事業 募集説明会・相談会

期 日：令和7年11月14日（金）18:00～19:00

15日（土）13:00～15:00

会 場：札幌市民交流プラザ 控室402

参加料：無料

参加者数：14日 13人、15日 13人

(2) 助成金交付事業募集

受付期間：令和7年12月1日（月）～

令和8年1月10日（土）

申請件数：特別助成事業 11件、一般助成事業 56件

(3) 助成金交付事業審査委員会

期 日：令和8年2月20日（金）13:30～17:30

会 場：SCARTS スタジオ1・2

採択数：特別助成事業 1件、一般助成事業 21件

広報・利用促進に関する事業

1 広報

①情報誌作成と事業広報との連携強化

圏域住民の市民交流プラザへの理解と支持を得るため、広報誌「wave times+（ウェーブタイムスプラス）」（冊子版、WEB マガジン版）を発行し、市民交流プラザの取り組みを広く周知した。劇場事業課、センター事業課及び札幌市図書・情報館と連携しながら、主催事業等について市民交流プラザの広報を一体的に行った。

(1) 広報誌「wave times+」

市民交流プラザの広報誌「wave times+」を6回（奇数月20日）発行し、区役所等の市内公共施設や関係団体へ送付したほか、公演・イベント会場等でも広く配布した。また、財団施設間連携の一環として、当財団が管理する他の5施設のイベントをピックアップして紹介した。

(2) パンフレット広告枠の活用

主要駅の地下鉄フリーパンフレットコーナーや、丸井今井札幌本店地下2階入口前のパンフレットラック等にて、広報誌「wave times+」や広報物を配架した。

(3) 協賛広告枠の活用

札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー企業の広告協賛等を活用し、地下鉄大通駅コンコース及び地下街オーロラタウン、丘珠空港、市内大型スーパーマーケット、路線バス車内等において動画の放映やポスター広告の掲示等を行った。

②ホームページ、SNSなどを活用した広報

ホームページでは主催事業や貸館公演などのイベント情報を随時発信し、広く市民交流プラザの周知を図るとともに、英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語の翻訳に対応し、外国人向けに情報発信を行った。ウェブアクセシビリティへの対応にも留意し、JISX8341-3:2016の適合レベルAA準拠を維持した。

令和7年度公式ホームページアクセス数：1,719,890件

令和7年度市民交流プラザメンバーズホームページアクセス数：163,409件

また、X、Facebook、Instagram といった SNS も

市民交流プラザ事業部

主催事業

活用し、即時性のあるトピック、広報誌やチラシだけでは伝わりにくい公演や事業の詳細な発信を行った。加えて、プラザ周辺の観光スポットの紹介を行った。また、外部業者との連携も図りながら公演などのチケット販売サイトへの誘導を行った。

③市民交流プラザのブランディング

圏域住民や利用者に対し、市民交流プラザの魅力やアクセス方法の認知度を高めるために、オリジナルグッズの作成や屋外広告掲出などを行った。また、市民交流プラザについての取材依頼、パブリシティ（無料）掲載などに対応し、市民交流プラザ全体で行われる事業や共催事業などのプレスリリースを行い、周知やチケット販売促進につなげた。加えて、「hitaru 遠征お役立ち情報」ページを開設し、市外からの来場者に対して情報提供を行った。

④その他の広報制作物

市民交流プラザ周辺の賑わい創出とメンバーズ会員への特典として「創成おさんぽMAP」や「ホテルグルメ特集」などの広報物を作成した。

（１）「創成おさんぽMAP」

近隣地域のにぎわいを醸成するため、メンバーズ会員向け特典提供店（87店）を紹介する地図形式の冊子を作成し、メンバーズ会員に送付したほか、協力店舗や市民交流プラザ館内及び札幌観光案内所等の各所で配架した。また、利用促進のため、SNSを活用した「#創成おさんぽMAPキャンペーン」を実施した。

（２）「ホテル グルメ特集」

「創成おさんぽMAP」に掲載のホテルについて、メンバーズ会員証の提示で受けられる特典をまとめた「ホテル グルメ特集」を年3回発行し、メンバーズ会員に提供したほか、市民交流プラザ館内各所に配架した。

2 利用促進

①施設利用に関する営業

劇場及びセンター諸室の貸館利用促進に向け、ホームページで施設の空き状況などの施設利用に関する情報を提供したほか、これまで札幌での開催が少なかった魅力ある公演の誘致により、新たな客層の獲得を促進した。

②会員制度の運営

主催公演のチケット先行発売や公演情報の提供などを特典とする会員制度「札幌市民交流プラザメンバーズ」を運営し、令和8年3月末までにWEB会員 59,953人、DM会員 348人、計 60,301人の会員を集めた。

会員向けサービスとしては、以下のものを実施した。

- ・メールマガジン配信（WEB会員向け。原則1ヶ月に2回）
- ・ダイレクトメール送付（DM会員向け。原則奇数月）
- ・札幌文化芸術劇場 hitaru 主催公演等のチケット先行発売
- ・市民交流プラザ内カフェ・レストランでの優待
- ・近隣のホテル・飲食店等での各種優待

③協賛制度の運営

札幌文化芸術劇場 hitaru の主催共催事業の充実を目的とする「hitaru オフィシャルスポンサー」制度を運営。

令和7年度のスポンサーとして、法人102社、個人46人、計148件（現金 8,766万円、広告 2,830万円相当）の協賛を獲得した。